

表1 「地理基礎」の学習内容ー 日本学術会議の提言と日本橋女学館の授業ー

日本学術会議提言(2011)参考資料	研究開発学校・日本橋女学館2013(平成25)年度授業実施内容	
I. 現代世界の特質と課題	I. 現代世界の特質と課題	時数
<p>1. 地球スケールでとらえる現代社会 地球儀や世界地図を用い、読み取りや作図を行いながら、次の内容を中心に学習を進める。</p> <p>(1) 地球の構成 主な学習事項(以下同じ)：回転楕円体としての地球、地軸の傾き、座標系(緯度と経度・図法等)、地球観測衛星からみた地球大気や海洋の大循環と気候・植生帯、プレートテクトニクスと地球規模の災害 地球環境変動など</p> <p>(2) 結びつく世界 人口の国際的な移動、モノ・情報・資金のグローバル流動、エネルギー革命と貿易、国際的な組織、国土と領海、情報通信とデジタル地球</p>	<p>1. 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、国家とその領域、結びつきを強める現代世界の地理的認識を養う。</p> <p>(1) 球面上の世界のとらえ方 (2) 球面上の位置 (3) 時差の求め方 (4) 地球儀と世界地図 (5) 国の範囲とその領域 (6) 国家間の結びつき (7) 通信・交通の発達 (8) 国際貿易の発達</p>	10
<p>2. 世界の諸地域の多様な自然と文化 衛星画像や世界地図、景観写真、統計地図などを用い、読み取りや作図を行うとともに、州・大陸規模、国家規模で適切な地域事例を取り上げながら、次の内容を中心に学習を進める。</p> <p>(1) 自然環境からみた諸地域の多様性 変動帯と安定帯、熱帯から寒帯まで、モンスーン地域、山地・平野・島嶼など</p> <p>(2) 生活・文化からみた諸地域の多様性 民族、宗教、言語、衣・食・住など</p> <p>(3) 自然と生活・文化との関わりからみた諸地域の多様性 災害・環境汚染・環境破壊と人間活動</p>	<p>2. 現代世界の自然環境 現代世界の地形、気候、植生、土壌などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活との関わりなどについて、系統地理的に考察し、地理的技能及び地理的な見方・考え方を身に付けさせる。</p> <p>(1) 世界の大地形 (2) 川がつくる小地形 (3) 海岸でみられる小地形 (4) その他の地形 (5) 気候の成り立ち (6) 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯 (7) 環境問題</p>	15
<p>3. 世界の経済・社会とさまざまな課題 世界地図や統計資料・統計地図、概念図などを用い、読み取りや作図を行うとともに、経済発展の様子などをもとにして州・大陸規模、国家規模で適切な地域事例を取り上げながら、次の内容を中心に学習を進める。</p> <p>(1) 世界の経済システム ブロック化と多国籍企業、環境と経済、中心地域と周辺地域</p> <p>(2) 人口・農業・食料 人口増加と少子高齢化、農業と農業地域、フードシステムとアグリビジネス</p> <p>(3) 工業化と地域格差 資源と立地、工業化と工業地域、産業空洞化と産業集積、新しい国際分業</p> <p>(4) 都市問題 都市システムとメガシティ(世界都市)、多文化共生、貧困、都市と災害、都市と環境、交通インフラ</p>	<p>3. 現代世界の地理的考察 世界の諸地域の人間生活と深く関わる産業、資源・エネルギー、人口、都市・村落、民族・宗教に関する諸事象や地球的課題を取り上げ、自然環境との関わりや歴史的背景を踏まえてその特色を考察し、現在世界の地理的認識や、地理的技能及び地理的な見方・考え方を身に付けさせる。</p> <p>(1) 世界の農林水産業と食料問題 (2) 世界のエネルギー・鉱産資源と資源エネルギー問題 (3) 世界の工業 (4) 世界の第三次産業 (5) 世界の人口と人口問題 (6) 世界の村落・都市と都市・居住問題 (7) 世界の民族・宗教・言語と民族・領土問題 (8) 世界の生活・文化 (9) 課題探究学習</p>	30 (6)
II. 地域の特性を活かした町づくり	II. 地域の特性を活かした町づくり	
<p>1. 地域社会の特質 従来の地形図や統計資料・統計地図、WebGISから得られる電子地図・統計資料等を用い、地図・電子地図の読み取りや作図を行いながら、次の内容を中心に学習を進める。 地域の自然環境や土地利用、地域の人口や産業・歴史</p>	<p>生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結びついた地理的技能及び地理的な見方・考え方を身に付けさせる。 その際、個人またはグループで、次の八つの項目の中から、適切なものを選び、地域調査、課題設定、課題解決の方策等について作業的・体験的な活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境 ・ 歴史的資源 ・ 生産販売サービス ・ 健康福祉 ・ エネルギー ・ 地域交通 ・ 環境景観 ・ 防災 	20
<p>2. 地域の中の地理的な諸課題と地域調査 個人またはグループで次のア～ケの中から適切なものを選び、従来の地図や統計資料、WebGISから得られる電子地図・統計資料、衛星画像等を用い、地域調査などを行い、従来の地図やGISを活用して、課題を解決し、暮らしやすい地域をつくるための方策について考察する</p> <p>ア. 自然資源の保全と活用 イ. 歴史的資源の保全と活用 ウ. 生産・販売サービスの向上 エ. 健康・福祉の対策と向上 オ. エネルギーの効率化 カ. 地域交通の快適化 キ. 環境・景観の改善と形成 ク. 事故・犯罪から身を守る環境の整備 ケ. 自然災害に備えた被害の軽減</p>	<p>【参考】実践の基本的方向性 中学社会(科)の3分野の知識の上に、基礎学力の育成を図るといふ基本的な考えを中心に据え、その実施のために授業項目の焦点化を行った。…中略…また、現在の世界で起こって驚愕する事象に興味を持って理解し、調査しようとする姿勢の育成を図るために、以下に重点をおきながら実践を行った。</p> <p>① 基礎学力とは何かという定義の検討 ② 興味関心を育て、調査方法・探究型学習を身に付けるために、学習内容に沿った主題学習・協同学習(課題探求活動)・レポート作成等を実施 ③ 表現活動を重視し、調査した項目や作成したレポート等の発表と実施 ④ 現代社会の世界的な事象や課題と関連させながら、地理的・歴史的領域の基礎学力向上に留意</p>	

(日本学術会議(2011)および日本橋女学館高等学校(2014)をもとに作成)